

2-5.アクティビティ アラート通知表示

- アラート発生時の画面表示見本です。状態の変化に応じて、時間の経過とともに表示が変わります。
- タイルの色が赤になるのは「熱中症危険」および「要緊急対応（熱中症アラート状態が1時間累積）」の場合のみです。※要緊急対応のアラートレベルは設定により異なります。

要緊急対応と判定

※要緊急対応の判定後は、判定当日のタイルの色は赤のまま表示され  マークが表示されます。



				
熱中症アラート「危険」と判定。	熱中症アラート「危険」の状態が累積1時間に達し「要緊急対応」と判定。「SOS通知」「転倒通知」が同時に出ている状態。	心拍数が落ち着き熱中症アラートは「安全」へ推移。「転倒通知」は作業員本人がリストバンドで解除。「SOS通知」はまだ解除されていない。	「要緊急対応」は当日24時の経過により解除。「SOS通知」はまだ解除されていない。	管理者がクラウドで「SOS通知」を解除。

【各通知の表示が消えない場合】
通知を解除したタイミングや通信状態によっては、リストバンドまたはクラウド上に通知が残って表示されることがあります。その場合は、以下のとおり解消されます。

通常の場合

次回の通知更新（通常1分間隔）で自動的に消去されます。そのまま少しお待ちください。

電波状況が悪い場合

通信が正常に行えていない可能性があります。電波状況の良い場所へ移動してご確認ください。



「要緊急」の判定となった場合、当日の24時までタイルは赤く表示されます。

これは、心拍数が「安全レベル」に落ち着いた後も、当日は引き続き体調に注意が必要であるという観点によるものです。

また、「要緊急」の対象者が再び「注意」以上の判定となった場合は、アラートメールの設定に関わらず、管理者へ通知メールが送信されます。

例) 拠点設定【3-4】総合アラート設定：送信設定をレベル3「危険」以上にしている場合
左記「山田太郎」安全→注意（レベル1）へ変動 → **管理者へメール通知**

 (メール送信無し)
  (レベル1以上)
  (レベル2以上)
  (レベル3以上)